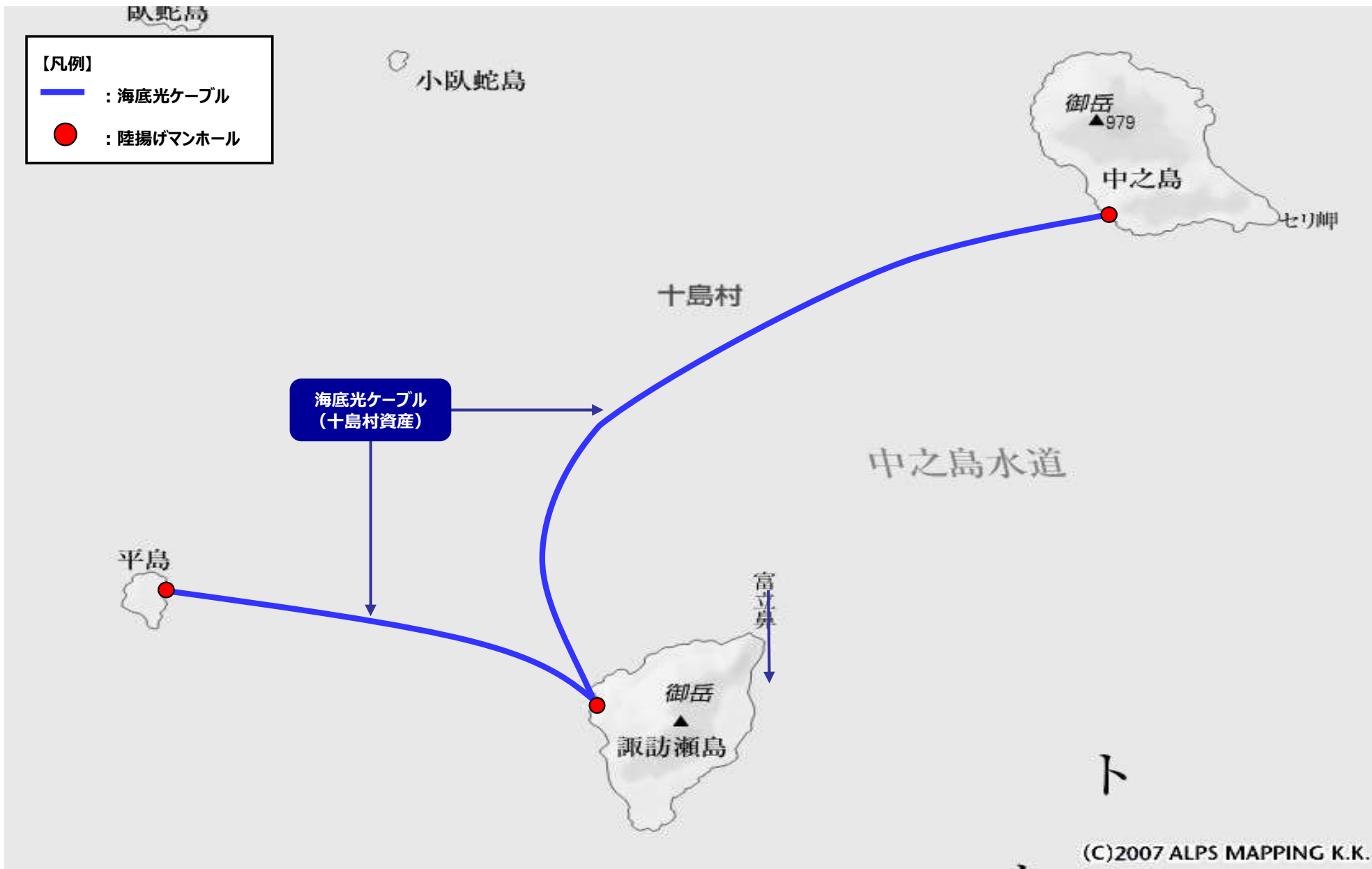


# 海底光ファイバケーブル等敷設ルート概略図（案）



別紙 2\_1 海洋調査・実施設計数量

項番	仕様事項	事項内訳	数量	単位	内容	
1	机上検討	(1) 陸揚地選定	ア 陸揚候補地の条件整理	1	式	
			イ 陸揚候補地の選定	1	式	
			ウ 占用等許認可の調査	1	式	
		(2) 調査ルート設計	ア 海底地質等の調査	1	式	
			イ 断層等の調査	1	式	
			ウ 海底傾斜角度調査	1	式	
			エ 操業状況調査	1	式	
			オ 投錨海域調査	1	式	
		カ 調査基本ルート設計	1	式		
2	漁業折衝	(1) 意見照会等折衝	ア 基本ルートへの意見照会	1	式	
			イ 関係漁協との折衝	1	式	
		(2) 調査同意書受領	ア 海洋調査同意書受領	1	式	
3	海洋調査	(1) 音響／音波探査	ア 海底地形データの取得	60,591	m	基本ルートを中心に水深の5倍幅とする。また、陸揚げ地付近(水深30mまで)は敷設船等の稼働範囲を考慮すること
			イ 海底面状況データの取得	3,503	m	同上
			ウ 取得データの解析	1	式	取得データを解析して、①障害物②海底傾斜等ケーブル敷設に適する諸条件を勘案して推奨ルートを設定すること
		(2) 潜水探査	ア 潜水調査(突き棒調査)	1	式	推奨ルート上の水深30m以浅について実施すること。突き棒調査の間隔については別途提案すること。
			イ 潜水調査(目視確認)	3,503	m	推奨ルート上の水深30m以浅について目視確認して、50m間隔及び状況変化があるポイントについて実施すること
		(3) その他	ウ 磁気探査	520	m	既設ケーブルルート確認を実施すること。
4	報告整理	ア 解析データの報告整理	1	式	取得データについては、以下の成果物を作成すること ① 調査航跡図 ② 海底面状況図 ③ 等深線図 ④ モザイク図 ⑤ 突き棒貫入結果一覧 ⑥ ダイバー目視確認記録(写真)	
5	実施設計	(1) 設計検討	ア 防護内容及び数量策定	1	式	① 海底光ケーブルルート(起点・終点は両陸揚陸上部接続点とする) ② 海底光ケーブル長(適正なスラック長を考慮すること) ③ 海底光ケーブル外装種別
		(2) 設計図書の作成		1	式	検討内容を反映させて設計図書を完成させること
		(3) その他		1	式	占用数量の算定等発注者が行う諸手続きに要するデータの提供

※上記に示した内容に準じない提案も可とする。但し、変更した箇所がある場合は理由を明示すること。

別紙2\_2 調査・設計数量（陸上部光ファイバケーブル）

大項目	項目	単位	数量	内容
現地調査	現地調査(地下管路ルート調査)	区間	37	
	現地調査(MH接続箇所、測量、写真撮影調査)	箇所	10	地下ケーブル接続箇所
設計	基本設計 直線図(総括図、明細図)	枚	4	
	基本設計 光ファイバケーブル芯線接続図	枚	2	光系統図含む
	基本設計 マンホール展開図	枚	3	
	基本設計 架機器配置図	枚	3	
	基本設計 光ファイバケーブル芯線収容表	枚	1	
	基本設計 位置図	枚	1	
	設計図書製本費	部	6	

※上記に示した内容に準じない提案も可とする。但し、変更した箇所がある場合は理由を明示すること

別紙 2\_3 調査・設計数量 (地下埋設設備)

大項目	項目	単位	数量	内容
測量業務	作業計画	式	1	耕地・平地
	4級基準点観測	式	1	耕地・平地
	3級水準点観測	式	1	耕地・平地
	現地踏査	式	1	耕地・平地
	中心線測量	式	1	耕地・平地
	縦断測量	式	1	耕地・平地
	横断測量	式	1	耕地・平地
	現地測量	式	1	1/500・耕地・平地 W=15m
	報告書作成	式	1	
設計業務	設計計画	式	1	打合せ協議含む
	実施設計	式	1	平面図、縦断図、MH展開図等
	許認可申請業務	式	1	現地調査、協議、申請書作成、提出・受領
	報告書作成	式	1	

※上記に示した内容に準じない提案も可とする。但し、変更した箇所がある場合は理由を明示すること

別紙3 機器・材料数量及び施工工程数量

項番	施設区分	費用項目	項目	単位	数量	仕様等		
1	海底光ファイバケーブル	機器費	海底光ファイバケーブル	km	65.708	8芯／一重外装及び二重外装		
			接続クロージャ	クミ	4	SL-JB		
			铸铁管	クミ	3,000	70mm		
			ポリウレタン防護管(B)	m	150	バラスト入り		
			固定バンド	箇所	60			
			ストッパーブロック	箇所	3			
			陸標柱	組	6	UCポール・三角標識		
			注意標	組	3	注意標柱・注意板		
			プリフォームドストッパー	本	6			
			その他雑材	式	1			
			労務費	工事準備(現地確認)	式	1		
				工事準備(機材積み込み／降ろし(各1回))	回	1		
				回航(ケーブル敷設船)	式	1		
				回航(小型敷設船)	式	1		
		回航(大型警戒船)		式	1			
		要員移動経費(移動日数)		日	2			
		機材運搬経費(移動日数)		日	2			
		ケーブル積み込み		式	1			
		ケーブル陸揚げ準備		箇所	4			
		ルート試走		km	62.579			
		ケーブル陸揚		箇所	4			
		ケーブル敷設		km	65.708			
		浅海部ケーブル埋設		m	150			
		浅海部ケーブル防護(铸铁管)		m	1,500			
		浅海部ケーブル防護(ポリウレタン)		m	150			
		浅海部ケーブル防護(バンド固定)		箇所	60			
		浅海部ケーブル防護(岩盤掘削)	m	5				
		2	陸上部光ファイバケーブル	機器費	DS-3鉄架	架	3	
					光ファイバケーブル(8芯)	m	5,320	8SM-WBE
					局内成端用光ファイバケーブル 8C 50M	条	4	
地下接続クロージャ	クミ				6			
材料費	ケーブル保護用可とう管			m	2,460	30mm		
	オプティセリンナーソフトタクト			m	2,600	3セルタイプ		
	固定式マンホールケーブル受金物			個	60	K210、K400		
	その他雑材			式	1			
	労務費			自立型光成端架新設	面	3		
構内光成端ケーブル新設				100m	2.00			
光ケーブル成端(5テープ以下)				箇所	4			
管路(地下)光ケーブル新設				m	5,060.0			
ケーブル保護用可とう管新設				100m	24.60			
光ケーブル直線接続(5テープ(心)以下)				箇所	6			
光ケーブル直線接続(10テープ(心)以下)				箇所	4			
光ケーブル接続損失試験(パルス試験)				区間	2			
光ケーブル伝送損失試験(パワーメータ)				区間	2	1方向		
ケーブル表示札取付				枚	43			
3	地下埋設設備	材料費	PV管路(φ75mm)	本	446	P-V管、5M		
			防護管(φ100P)	本	74	P-V管、5M		
			マンホールブロック(L-3)	個	1			
			マンホールブロック(S-3)	個	2			
			ハンドホール	個	20			
		労務費	マンホール新設		3			
ハンドホール新設		20						
地中管路新設		2,420.0						
防護管路新設		130.0						
4	安全対策費		交通誘導員(平日)	日	232			
5	運搬費		運搬費(機材)	式	1	船舶輸送費含む		
6	産業廃棄物処理		産業廃棄物処理	式	1			

※上記に示した内容に準じない提案も可とする。但し、変更した箇所がある場合は理由を明示すること